

① 右耳
② 人出
③ 名字
(苗字)

④ おうじよ
⑤ いっしょう

②
I
さばの
II
でたら

② ウ
③ ア
④ ア

⑤ お母さん

③
① イ
② ア
③ ク
④ オ
⑤ キ
⑥ エ

④
① 赤んぼうザル

② エ

③ 母ザルの乳

④
A
1
B
2
C
2

配点

① 各2点×5=10点

②~④ 各5点×18=90点

<計>100点

① 「耳」の五画目はしっかりと右側に突きだそう。一年生、二年生で習う漢字の字形や意味を正しく覚えておくと、今後の漢字の勉強にも役立つ。② 「人出」とは、人が多くその場所に集まること。「人」を「入」と書かないように気をつけよう。③ 「名」は、「メイ・ミョウ」という二つの音読みがある。他にも「ミョウ」と読む場合のことばはいくつもある。④ 「王」の読みを「おお」と書かないように注意しよう。かなづかいにも気を配って覚えていきたい。⑤ 「一生」はうっかり「いちしょう」や「いっせい」と読んでしまわないようにしたい。

② 1 物語文では、話の途中から読んでいくことになりやすい。「なぜ?」「どういうこと?」と考えながら、どのように話が進むのか、ここまでで何があったのかをつかんでいこう。本文四行目のお母さんのセリフの中、「さきが大きくなって、台所で、さばのみそ煮を作るとき、今日のことを思い出さかな」という部分に注目したい。「今日のこと」とは何か、なぜ「さばのみそ煮」を作るときなのかを考えていこう。

2 「ふさわしくないもの」を選ぶことに注意したい。問1と同じく、本文四行目のお母さんのセリフに注目するとアが正しいことがわかる。残るイとウだが、そもそもなぜお母さんがさきにそのようなことを言い始めたのかを考えよう。いまのさきと同じように、お母さんにも「でたらめ歌を歌」ってもらったという思い出があったのである。イの「お父さん」とはもちろん、さきにとつての「おじいちゃん」のことである。ウはこの文章からは読みとれないので、ウがふさわしくないものとなる。

3 線②の直後で、さきが覚えている「おじいちゃん」についての説明があった。この中で、「でたらめ歌を歌うようには見えませんでした」と書かれていたことと、お母さんの話の内容を照らし合わせてみよう。イは「おじいちゃん」についての話ではないし、ウはさきがすでに知っていることなのでおかし。

4 「ふだんは、じょうだんなんかいわなかった」人であり、「でたらめ歌を歌」ったり、「びよんびよんおどる」ような性格ではなかったからこそ、「お父さん(おじいちゃん)」の意外な行動に小さいころのお母さんは大笑いをしたのである。

5 ④をふくむ一文を読み直そう。「さきちゃんの頭に…うかびました」と書かれており、さきがお母さんの話を聞いて、その様子を想像していることがわかる。大笑いをしている、昔のお母さんを思い浮かべているのである。

③ 様子や気持ちを表すことばの問題である。

① のんびり…気を使うところがなく、心と体が落ち着いている様子を表したことば。

② ひんやり…冷たい感触であるという意味。冷凍庫の中の、空気の冷たさを表している。

③ にんまり…笑いをうかべる様子を表すことば。自分の思い通りのことが起きて満足しているのである。

④ どんより…この場合は、空が重苦しくもっている様子を表すことばである。

⑤ あんぐり…おどろいたりあきれたりしたときに、思わず口を大きく開けた様子を表すことば。

⑥ こんもり…この場合は、木々がしげっている様子を表すことばである。

④ 1 自分が今読んでいる文章が、何について書かれた文章なのかは早めにつかみたい。「赤んぼうザル」について書かれた文章であることはすぐにつかめただろうが、答えを「赤んぼうざる」とひらがなで書いたり、「赤んぼうサル」と書いたりしないように注意したい。ぬきだし問題では、文章で書かれていた形を必ず守ろう。

2 一行前の「母ザルやほかのサルとの間に入りこみ、つつみこんでもらうようなすがた」という部分から、サルが集まっただけかたまりになり、寒さをしのぐ様子をイメージしたい。アもイも、子ザルや他のサルたちの様子を表すことばとしてはおかし。また、ウは「つつみこんでもらう」ということばとのイメージが合わないだろう。

3 三つある③のそれぞれがヒントになる。赤んぼうザルがこだわるもの、しがみつくもの、そして、「弟や妹」が生まれてからは「乳ばなれ」をして、それからはたよらずに生きていくものとは何であったかを考えよう。問1と同じように、答えを書くときには字の写しまちがいが無いように注意したい。

4 Aは本文の後ろから七行目に書いてあるとおり。Bは「親子で」という部分がおかしい。赤んぼうザル(子ザル)は赤んぼうザル同士で、あるいは兄弟姉妹と「追いかけてこやレスリングなどをして」遊ぶ、と書かれてあった。Cは「必ず」という部分がおかしい。「弟や妹が生まれないかぎり」母ザルの乳にこだわる、つまり「乳ばなれ」をしないのである。本文中に三歳になっても「乳ばなれ」をしないサルということが書かれていたことにも気づきたい。